

# 目指すべき将来のまちの姿

～50年、100年先の未来においても輝き続けるまち～

## 便利な田舎暮らしができるまち

都会にはない豊かな自然や歴史・文化、少し足を延ばせば都会(京阪神)に行けるといいう立地性を最大限に活かし、10万人規模の都市機能を確保しながら、生活の質の向上につながるAI(人工知能)やICT(情報通信技術)など、新たな先端技術を積極的に導入し、未来型の便利な田舎暮らし(舞鶴版 Society5.0)を目指します。

また、その実現に大きな役割を果たす山陰新幹線京都府北部ルート誘致活動にも積極的に取り組みます。



▲オムロンと「舞鶴版 Society5.0」の実現に向けた共同記者発表

## 市民(事業所)が元気なまち

まちの主役である市民(事業所)のチャレンジを応援し、地域の元気に結びつくまちづくりを促進します。



①大浦女性の会とふるるファーム、市管理栄養士が開発した減塩鍋 ②南舞鶴地区で開催された自主防災訓練 ③昨年度開催された農商ビジネス商談会

## 新たな技術を導入した未来型のスマートなまち

AIやICTといった先端技術の活用や再生可能エネルギーの導入で日常生活や都市機能の効率性、利便性を向上させます。また高齢者や女性の社会参画、エネルギーの地産地消の推進など、人口減少社会などの課題解決に向けた取り組みを実践し、経済・社会・環境が調和した持続可能なまちづくり(舞鶴版SDGs)を実現します。



▲AIの活用で業務を効率化

## 住み続けたいと思えるまち、人が集う魅力あるまち

地域への愛着や誇りを醸成し、この地域で産み(生まれ)、育て(育ち)、学び、働くサイクルをつくる(定住人口の減少抑制)とともに、本市の魅力を広くPRすることで、舞鶴を訪れる人(交流人口)、舞鶴に移り住む人(移住人口)、舞鶴に住んでいなくても、この地域を想い、行動する人(関係人口)の増加を目指します。



▲お試し住宅を設計した高専生と地域の皆さん

## 多様な連携のもと、持てる資源を効果的に活用するまち

産官学金労言(※)などの各界各層との多様な連携や民間の資金、ノウハウを積極的に取り入れる官民連携を推進するとともに、京都府北部5市2町などの広域連携により、圏域全体で「地域循環型の経済成長」「高次都市機能の確保」を目指します。

※産官学金労言…産業界、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、メディアのこと。



▲京都府北部地域連携都市圏形成協議会総会の様子

# 第7次舞鶴市総合計画

## 都市像

ひと・まちが輝く 未来創造・港湾都市 MAIZURU

## 基本理念

次代を担う若者や子どもたちに夢と希望をお年寄りには感謝を

## 目指すべき将来のまちの姿

- 便利な田舎暮らしができるまち
- 市民(事業所)が元気なまち
- 住み続けたいと思えるまち、人が集う魅力あるまち
- 新たな技術を導入した未来型のスマートなまち
- 多様な連携のもと、持てる資源を効果的に活用するまち

### ◆都市像

これまでのまちづくり  
これからのまちづくり

これまでのまちづくりは「交流人口300万人・経済人口10万人都市・舞鶴」を政策目標に掲げ、引揚記念館所蔵資料の「ユネスコ世界記憶遺産」登録や旧軍港四市の歴史ストーリーの「日本遺産」認定などまちの魅力を引き出し、高め、広く発信することに力を注いできました。

4月からスタートした第7次総合計画は、これまで取り組んできたまちづくりを土台に、市民と行政が共に未来に向けた「ひとづくり」「まちづくり」に取り組み「未来を拓くまち」を目指しています。

基本構想とは、まちの将来像を描き、どんなまちを目指すのか、どのようにまちづくりを進めるのかという基本的な考え方を示したものです。市が抱える人口減少や少子高齢化などの課題への対応。そして本市が担ってきた日本

### ◆基本理念

すべての施策の根底にあるもの

海側における「国防」「海の安全」「エネルギー」「ものづくり」「観光」の拠点としての重要な使命と役割を将来も果たしていくために「国際交流・港湾都市」であり続けるまちを目指して「ひと・まちが輝く 未来創造・港湾都市 MAIZURU」を都市像に掲げ皆さんと共に取り組んでいきます。

今回の総合計画にある施策などの根底には「次代を担う若者や子どもたちに夢と希望をお年寄りには感謝を」という基本理念があります。将来の担い手となる若者や子ども達の郷土愛を育み、夢や希望を持ち、その夢を叶えることができるまちを目指すとともに、私たちを育てこのまちを築きあげてこられた世代の皆さんには敬意と謝意を表すことはもとより、知恵と経験を活かして、いつまでも地域で活躍し続けることができるまちを目指します。

新たに策定された第7次総合計画は、時代の潮流に対応し、目指すべきまちの姿を描き、市民の皆さんと共にまちづくりを進める指針となるものです。シリーズ市政の今では、今月から2回にわたり、その基本構想とまちづくりへの強い思いをお伝えします。



シリーズ 市政の今  
第7次舞鶴市総合計画の概要  
まちづくりを進めるための新たな指針  
～まちづくり計画の基本構想①～